

福祉の仕事の魅力を広い世代に伝えるため、福祉施設で働く若者の「声」を紹介するシリーズ。第1回は「相模原市立古淵デイサービスセンター」（南区古淵）で働く土井綾女さん（37）。

もともと福祉には興味を持っていたものの「年齢を重ねてからでもできる仕事」と、進路としては考えていなかったという土井さん。しかし、高校生の時に祖母を亡くし、祖父と同居を始めたことがきっかけで、福祉の専門学校に進学することを決めた。

卒業と同時に介護福祉士の資格



笑顔で仕事について語る土井さん

福祉のしごと・魅力発信① 企画／相模原市社会福祉協議会

「自分が成長できる場所」

相模原市立 古淵デイサービスセンター勤務 土井綾女さん



を取得。老人保健施設、特別養護老人ホームを経て、現在はデイサービスで働いている。「福祉の介護の仕事一筋ですが、待遇に不満を持ったことは一度もないです」と微笑む土井さん。

在宅で長く暮らし続けるための支援を行うのがデイサービス。入浴や食事、リハビリの介助などをやっている。今年から同施設で導入された「部活制度」では、手芸部と大正琴部の顧問を務める。大正琴は施設の利用者から贈られて、猛練習を積んだのだとか。「物だけでなく言葉や気配りなど、多くのことをいただける場所。人として成長できる仕事だと思っています」

■古淵デイサービスセンター

相模原市南区古淵4の24の1

☎042・766・8555

※介護正規職員募集中